

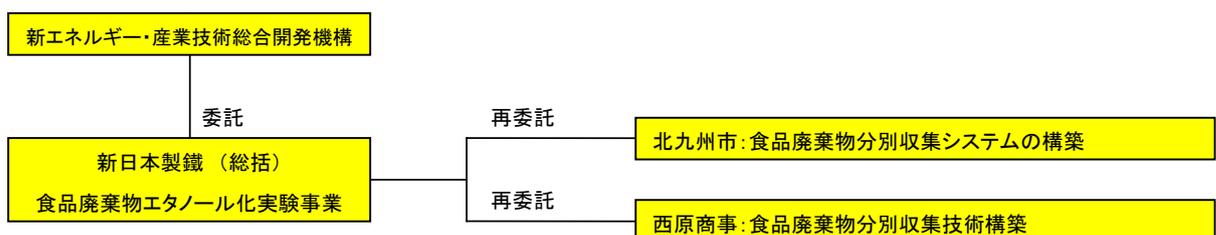
NEDO・バイオマスエネルギー地域システム化実験事業(委託事業)
「食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実験事業」の実施について

新日本製鐵株式会社(新日鉄)は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託を受け、食品廃棄物からエタノールを製造する実証事業を北九州エコタウンで実施します。

1. 事業概要

本事業では食品廃棄物中に多く含まれるご飯やパンなどの炭水化物に注目し、この炭水化物を選択的に糖化/エタノール発酵を行い、食品残渣をエタノールに転換する新規のリサイクルシステムの実証を行います。この食品残渣のエタノール転換設備では、既存のごみ焼却施設で有効利用されていない排熱を利用し、あわせてリサイクル後の残渣を既存のごみ焼却炉で処理することにより、エタノール製造までのコスト圧迫要因を排除します。また食品廃棄物の糖化液を原料に無水エタノールを製造し、最終的なエネルギー形態として車両用燃料であるE3ガソリンに加工して利用することを想定しています。なお、本事業は平成17年度に実施の北九州市環境未来技術開発助成事業の成果を適用して実施するものです。

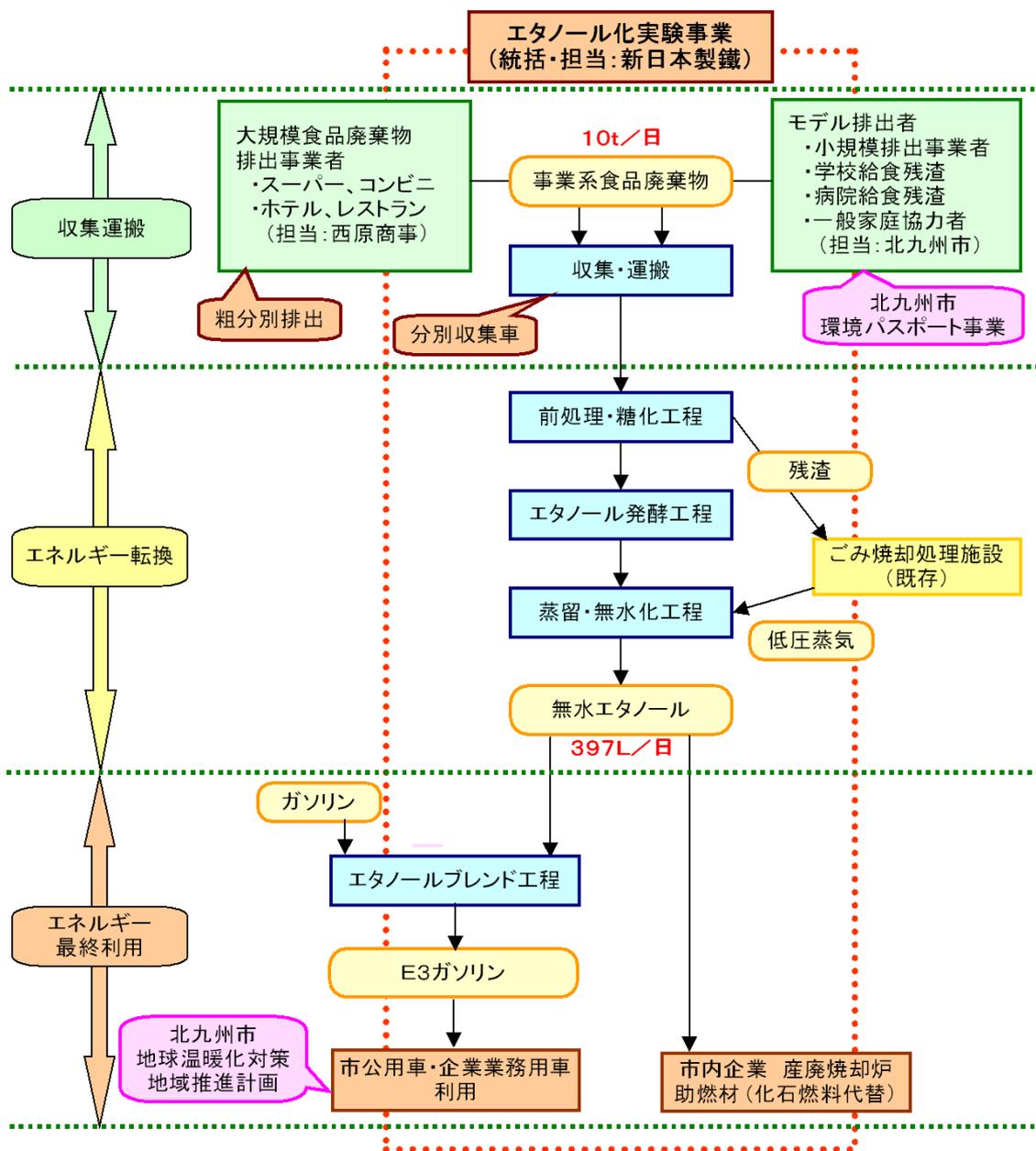
2. 実施体制



3. 実施場所

北九州エコエナジー株式会社 敷地内 (北九州エコタウン)
(北九州市若松区響町1丁目62番地20)

4. システム構成



5. 実施期間

平成17年12月12日から平成22年3月20日まで(予定)
当面、平成17年度～平成18年度分につき、NEDOより受託
施設建設着工:平成18年9月予定
実証試験開始:平成19年4月予定

項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
1) 設計・建設	■				
2) 試運転		■			
3) 操業運転			■		

以 上

【お問合せ先】

新日鉄エンジニアリング(株) 北九州環境技術センター
(担当:羽島 康文、水谷 日出雄)
〒808-0002 北九州市若松区向洋町10番地12
電話 : (093) 751-0780

新日鉄エンジニアリング(株) 広報室
電話 : 03-3275-6030

< 参 考 >

NEDO・バイオマスエネルギー地域システム化実験事業について

バイオマスエネルギーは「カーボンニュートラル」という特性を持ち、化石資源由来のエネルギーを代替することにより、地球温暖化を引き起こす温室効果ガスCO₂排出削減に大きく貢献することが可能です。現在、「京都議定書」において閣議決定された2010年度の新エネルギー導入量1,910万kl(原油換算)のうち、バイオマス熱利用は308万kl(原油換算)に設定されており、その目標の達成を目指しています。

しかし、バイオマスエネルギーの利用はその潜在的に多大な賦存量にもかかわらず、また実用化された技術であっても、導入・普及が十分に進んでいない状況にあります。導入普及を妨げる要因として、バイオマスの潜在供給量と市場コストの間に大きな乖離があると同時にバイオマスエネルギー転換の上流(収集・運搬技術)から下流(変換エネルギー利用技術)までを通した一貫システムの確立がなされていないことが挙げられます。

そこで本事業では、①国内バイオマス資源の効率的かつ経済的な収集運搬システムの実証検討、②設備を設置して運転特性や経済性に係わるデータ等の取得を通じたエネルギー転換技術や利用技術の開発、③生産された電力・熱・燃料等を実際に利用し、運用データや外部供給とのコスト比較データ等を取得するエネルギー最終利用の実現、そして、④地産地消・地域循環型エネルギーシステムの実証検証を実施します。さらに、これらの事業を通じて社会システム並びに技術上の課題の抽出と分析を行い、他の地域への導入普及を先導するモデル的なバイオマスエネルギーの地域システム構築を目指します。

このたび「バイオマスエネルギー地域システム化実験事業」に関する公募を実施し、7件の委託事業者を決定し、平成17年度から平成21年度までの5年間をかけて実施します。

(フォーカス NEDO 第22号より引用)